

平成 30 年 2 月 大泉図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 2 月 22 日 (木) 13 時 10 分から 13 時 50 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」) 管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長 ※光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 大泉図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「大」) 大泉図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (1)</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>(光) 非常灯のバッテリー交換について → (大) 12 条点検で指摘のあった非常灯のバッテリー交換については、利用者スペースについては交換済み。その他の場所については、平成 30 年 3 月中に実施予定。</p> <p>(光) 利用者アンケートの意見に対応し、チラシの置き方を工夫したようだが。 → (大) パンフレットスタンドやデスクトレイを追加し、チラシを種類毎に配置したことで、情報が見やすくなり、チラシを取りやすくなった。</p> <p>② 職員体制について</p> <p>(光) 12 月の研修で「ねりま防災カレッジ」や「練馬 En カレッジ地域講座」に積極的に参加しているが、どのような目的で参加し、今後の館運営に活かしていくのか。 → (大) 大泉図書館は住宅街の中にあり、そういった立地を考えると地域とのつながりがとても大切だと思っている。様々な研修に参加し、まずは自分たちの地域のことを知り、他の参加者とつながることで、事業に広がりをもたせていきたいと考えている。今回、「ねりま防災カレッジ」では、地域の防災活動をしている様々な方と知り合えたので、防災をテーマにした図書館のイベントについて一緒に進めていきたい。</p> <p>③ 一般事業について</p> <p>(光) 12 月開催の「大人のための教養講座『江戸かな古文書入門』」について → (大) 大泉図書館では女性が参加しやすい事業が比較的多かったため、男性が参加しやすい事業として、初心者を対象に「江戸かな」の基礎を学んでいただく講座を実施した。図書館の会議室を利用している団体の方から講師を紹介してもらったが、わかりやすい内容で参加者に好評であったため、今後も続けていきたい。</p> <p>(光) 1 月実施の「福ぶくろ」について → (大) 一袋に 2 冊入れ、一般向け 50 袋、青少年向け 10 袋、児童向け 30 袋を準備し、一日限定で初めて実施した。一般向け 37 袋、青少年向け 7 袋、児童向け 30 袋の貸し出しにつながり、普段は読まないジャンルの本を読んでもらうきっかけ作りができた。利用者の中には「福ぶくろ」という事業名から、資料をもらえると勘違いしてしまう方もいたため、今後は実施方法だけでなく周知の仕方についても検討したいと考えている。</p> <p>(光) 1 月開催の「きらり！ねりま人『旅に魅せられて 蔵前仁一 大いに語る』」について</p>

→ (大) 6月に開催した「練馬区出版社展示会」でギャラリートークをしていただいた講師を招き、仕事や地元への想いを語っていただいた。編集だけでなく、旅行作家やイラストレーターとしても活躍されており、年始の事業であったが、若い世代の参加があった。

(光) 1月開催の「図書館員と語ろう！時代小説・歴史小説」について

→ (大) 古文書入門同様、図書館に来館される男性利用者をターゲットに、利用者同士の交流のきっかけを作ろうと「時代小説・歴史小説」にテーマを絞り実施した。定員 10 名のところ5名の参加ということで、もっと気軽に参加してもらえるよう周知方法等を検討し、来年度も実施していきたいと考えている。

(光) 「藤沢周平コーナー」に係る事業について

→ (大) 石神井公園ふるさと文化館の「生誕 90 年記念 藤沢周平と練馬展」にブックトークで参加する予定。先日、内覧会に参加した際に、藤沢周平氏の関係者の方と話すことができた。今後も光が丘図書館や関係者の方と相談しながら事業を進めていきたい。

#### ④ 児童サービス事業について

(光) 12月、1月の学校支援の状況は。

→ (大) 貸出しを伸ばすために、「福袋」や「おみくじ」等のイベントを実施した。

(光) 家庭での読書推進向上に向けた考えについて

→ (大) 支援員としては図書日より各学年にお薦めする本を紹介している。親子読書を実施している学校もある。また、保護者から学校の先生に子供にどんな本を読ませたら良いのか相談がある場合、先生に対して情報提供やアドバイスができると考えている。

(光) 1月実施の「おおいずみくじ」について

→ (大) 児童室で貸出しをした方を対象におみくじを引いてもらった。ラッキーアイテムとして本を紹介するなど、くじのコメントに本を絡め、利用促進を図った。おみくじは、11月に実施した「本のガチャガチャ大作戦」で使用したガチャガチャを再利用した。

(光) 1月開催の「カルタ大会」について

→ (大) 読札と絵札を参加者が作成し、それを使ってかるたを行った。「ことわざ」や「伝承遊び」等の関連本の展示も行い、本の貸出しにつなげた。

(光) 区ホームページに問い合わせのあった屋上庭園の親子連れ利用について、建物の構造上、屋上庭園でお子さんが走り回ると、下の閲覧スペースに影響してしまうため、ご理解いただくよう回答している。その回答の中で、「暖かくなったら屋上庭園でのおはなし会」を開催する旨記載しているが、実際の予定は。

→ (大) 4月の子ども読書の日で実施予定。

→ (光) 秋にも開催の検討をお願いしたい。

(光) 図書館のイベントに参加された方向けの託児サービスを実施する予定はあるか。

→ (大) イベントで視聴覚室を会場に使う場合、会議室を講師の控え室として使用しており、託児スペースが確保できない。また、一般の事業では高齢の方の参加率が高いため、現時点では考えていない。

→ (光) 今まで来館の少ない年齢層の方に参加してもらえるような事業も考えてほしい。